



「ハニカムパネル製ひさし」の侵水（水没）による影響につきまして

留意事項

「ハニカムパネル製ひさし」は構造として、パネル内部に水が浸入した場合、水抜き穴を通し抜ける構造となっております。しかしながら、泥水などの大量の水が浸入、侵水した場合、水抜き穴のつまりなどにより、水が滞留して、経年後、パネル面板の不具合が発生する場合がございます。

今回の豪雨により、ひさしが水没した場合

- ① ひさし下部にある雨水の水抜き穴より、水が逆流入し、ハニカムパネル内部に浸水する場合があります。
- ② ハニカムパネル内に浸水した場合、水抜き穴のつまりにより、容易に水が抜けず滞留する恐れがある。
- ③ 水の侵入はひさし外観からは確認できず、長期に渡り滞留した場合、パネル面板とコアの接着剤が膨満劣化し、パネル面板に不具合が発生する場合があります。

（ひさし上部からの通常の雨水ではハニカムパネル内部には水が滞留しない構造になっておりますが、あくまでも、ひさしが水没した場合となります。）

ご連絡のお願い

貴社取り扱い物件において、侵水（水没）した、弊社「ハニカムパネル製ひさし」がございましたら、下記までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

状況調査の上、対処方法を検討させていただきます。

連絡先 株式会社フジカケ

〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-33-1

電話 : 03-5627-3681 Mail : info@fjp-ahp.jp